第２章　機能を考慮した医療提供施設の整備目標　第５節　精神保健医療対策　　新旧対照表

|  |  |
| --- | --- |
| 新 | 旧 |
| |  |  | | --- | --- | | 現　　状  ２　多様な精神疾患等に対応できる医療機能の明確化  （２）うつ病・躁うつ病（双極性障害）  ○　平成28(2016)年末精神障害者把握状況調査によると、当医療圏の躁うつ病を含む気分（感情）障害による患者数は3,237人となっています。（表2-5-1）  （削除） | 課　　題  （削除） | | |  |  | | --- | --- | | 現　　状  ２　多様な精神疾患等に対応できる医療機能の明確化  （２）うつ病・躁うつ病（双極性障害）  ○　平成28(2016)年末精神障害者把握状況調査によると、当医療圏の躁うつ病を含む気分（感情）障害による患者数は3,237人となっています。（表2-5-1）  ○　一般診療所の医師や企業の産業医等が精神科医と連携し、うつ病等が疑われる患者を専門医につなげるG-Pネットが稼動しています。平成29(2017)年3月現在で、当医療圏では登録機関数は24か所です。（障害福祉課こころの健康推進室調べ） | 課　　題  ○　G-Pネットについては、利用実績が少ないため、その活用方法等について検討する必要があります。 | |